

令和7年度第1学年理科年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識・技能	定期考査，単元テスト等
観点2	思考・判断・表現	定期考査，単元テスト等
観点3	主体的に学習に取り組む態度	授業態度，ノート，課題，復習，夏季課題，提出物，小テスト等

理科：週3時間（一斉授業）（授業者：鈴木 真斗）

学習時期		学 習 単 元		学 習 内 容		観 点			評価時期	小 学 校 の 学 習 と の 関 連
期	月					1	2	3		
1	4 月	1. いろいろな生物とその共通点 第 1 章 生物の観察と分類のしかた (1)身近な生物の観察 (2)生物の特徴と分類 第 2 章 植物の分類 (1)身近な植物の分類 (2)果実をつくる花のつくり (3)裸子植物と被子植物 (4)花をさかさず種子をつくらない植物 (5)さまざまな植物の分類 第 3 章 動物の分類 (1)身近な動物の分類 (2)セキツイ動物 (3)無セキツイ動物 (4)動物の分類表の作成		・観察器具の使い方、スケッチの方法 ・生物の分類方法 ・植物の特徴 ・被子植物のつくり ・裸子植物のつくり ・シダ植物、コケ植物 ・植物の分類方法 ・動物のからだのつくり ・セキツイ動物 ・無セキツイ動物 ・動物の分類方法		○	○	○	7 月	5 年 花の作り、受粉 3 年 昆虫の観察
2	7 月	2. 身のまわりの物質 第 1 章 身のまわりの物質とその性質 (1)物の調べ方 (2)金属と非金属 (3)さまざまな金属の見分け方 (4)白い粉末の見分け方 第 2 章 気体の性質 (1)身のまわりの気体の性質 (2)気体の性質と集め方 第 3 章 水溶液の性質 (1)物質が水にとけるようす (2)溶解度と再結晶 第 4 章 物質の姿と状態変化 (1)物質の状態変化 (2)物質の状態変化と体積・質量の変化 (3)状態変化が起こるときの温度と蒸留		・物体、物質 ・金属、非金属 ・金属の性質 ・ガスバーナーの使い方、有機物、無機物 ・気体の性質 ・置換法 ・質量パーセント濃度 ・溶解度 ・状態変化 ・粒子モデル ・蒸留、融点、沸点		○	○	○	7 月	3 年 電気を通す物 6 年 気体の集め方 5 年 物のとけ方 4 年 水の姿
3	9 月	3. 身のまわりの現象 第 1 章 光の世界 (1)物の見え方 (2)光の反射 (3)光の屈折 (4)レンズのはたらき 第 2 章 音の世界 (1)音の伝わり方 (2)音の性質 第 3 章 力の世界 (1)日常生活のなかの力 (2)力のはかり方 (3)力の表し方 (4)力のつり合い		・光の直進 ・光の反射 ・光の屈折 ・凸レンズ ・音の正体 ・音の高低、音速 ・身近な力 ・力の単位 ・力の矢印 ・力のつり合いの条件		○	○	○	12 月	3 年 日光の進み方・集め方 物を動かすはたらき 物の重さ
	10 月	4. 大地の変化 第 1 章 火をふく大地 (1)火山の姿からわかること (2)火山がうみ出す物 (3)火山の活動と火成岩 (4)火山とともにくらす 第 2 章 動き続ける大地 (1)地震のゆれの伝わり方 (2)地震が起こるところ (3)地震に備えるために 第 3 章 地層から読み取る大地の変化 (1)地層のつくりとはたらき (2)堆積岩 (3)地層や化石からわかること (4)大地の変動 (5)身近な大地の歴史		・火山のでき方 ・火山噴出物 ・火山岩、深成岩 ・噴火と災害 ・P波、S波 ・震源、震央 ・地震と災害 ・浸食、運搬、堆積 ・堆積岩の種類 ・示相化石、示準化石 ・褶曲、断層 ・柱状図		○	○	○	3 月	6 年 火山 地震による大地の変化 流れる水のはたらき 6 年 土地のつくり

家庭での学習方法・学習のアドバイス

理科の授業では、実験を中心に考えることを重視しています。ご家庭では授業で行った実験の復習を教科書・ノートの確認と問題集を中心に行って下さい。
定期考査についても基本的には教科書、問題集のレベルで出題します。授業でポイントを話すので、覚える部分と公式を扱う部分を中心に復習しましょう。授業で出題した例題などは特に自力で解けるようにしておきましょう。